

2023年9月20日

No. 6 4 1

4月、7月、9月、11月、1月、3月  
20日発行

発行人  
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地  
公益社団法人 福島県畜産振興協会  
電話 (024) 573-0515  
FAX (024) 573-0565  
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>  
anteil@bz03.plala.or.jp  
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp  
keikai@bz03.plala.or.jp  
編集者 伊藤純一  
印刷所 (株) 第一印刷

## 令和6年度畜産関係予算等急要望活動

福島県畜産関係団体連絡協議会



県内18団体で構成する県畜産関係団体連絡協議会（紺野宏会長）は、9月11日に内堀雅雄県知事を始め県議会等に対し、次年度の畜産関係予算等について要望しました。

東日本大震災及び原発事故により、甚大な被害が続いており、さらに、ALPS処理水の海洋放出によって、新たな風評を招き苦境に陥る恐れがあります。

また、国際競争が激しさを増す状況の中、気候変動、人口増加、ウクライナ・ロシア紛争による世界経済の混乱により、配合飼料価格、輸入乾牧草価格及び肥料をはじめとする諸資材の高騰が続き、生産者に対する負担軽減策を講じているものの、極めて厳しい畜産経営を強いられ、先行き不安から離農者がでるなど生産現場は困惑していることから、生産者が経営意欲を失うことなく、持続的に安心して取り組めるよう生産基盤等の再構築を図るなど以下の7項目を要望しました。

### 1 畜産生産基盤の再生拡大対策

経営者の高齢化、後継者不足、設備等の老朽化が顕在化しており、安定的な生産基盤の維持・拡大に向け、家畜及び先進技術の導入、さらには施設・機械の整備等に対する支援は不可欠であり、現下の非常に厳しい畜産情勢に対する支援及び大震災により脆弱化した生産基盤を再生拡大するために畜産経営に合わせた積極的な対策を講じること。

- (1) 酪農生産基盤安定確保対策
- (2) 肉用牛生産基盤安定確保対策
- (3) 養豚・養鶏生産基盤安定確保対策
- (4) 畜産ICT機器等の導入および施設・機械等の整備対策
- (5) 避難指示解除地域及び避難休業畜産農家経営再開対策

### 2 配合飼料価格安定制度の見直し及び県独自の支援

現行の配合飼料価格安定制度について、飼料価格が現在のように高止まりしたり、継続して上昇した場合は、十分な補てんが受けられない仕組みとなっていることや補てん金の支出に時間を要することから、補てん機能が機動的に発揮されるよう、先を見据えた制度の見直しを国へ要望すること。

また、経営に及ぼす影響を緩和するため、輸入粗飼料を含む飼料購入コストを下げる県独自の支援を拡充すること。

### 3 堆肥等の流通対策及び自給飼料生産基盤強化対策

避難指示解除地域などでの肥料の資源となる堆肥の広域流通を図るとともに、国が進める国内肥料資源利用拡大対策事業に取り組む協議会に対する積極的な支援および自給飼料の生産基盤強化に必要なコントラクター組織等が取り組む収穫機械等の導入支援をすること。

また、国産飼料(子実用トウモロコシ等)の生産拡大と安定確保に向けた機械等の導入への支援および県内の稲わらの確保に向けた情報収集と供給体制の構築に向けた取り組みの支援すること。

### 4 肉用牛肥育経営安定対策(牛マルキン制度)及び肉豚経営安定対策(豚マルキン制度)の見直し

本県産牛肉については、原発事故後、風評によって他県産との価格差が今も続いている中、国は算定方式を都道府県単位から地方ブロック単位へ変更したことから、福島県の交付金単価は大幅に減額となり、経営継続が危機的状況にあるため、生産者が安心して経営できるよう牛マルキン制度(肉専用種・交雑種)を本県の実態に即した算定方式

に見直すことを国に対して強く要望すること。

また、セーフティネットであるマルキン制度（牛・豚マルキン）は、現下の配合飼料・乾牧草等粗飼料、燃油等生産資材の高騰に対して、現場の実態を反映した算定方式に見直すなど生産者が経営継続できるよう緊急的な対応について国へ要望すること。

### 5 県産畜産物の風評払拭並びに流通消費対策

本県畜産物への風評は根強く、いまだに適正な評価を得られない状況が続いていることから、知事によるトップセールスの展開やマスメディア等を有効に活用し、消費者及び流通・小売業者等に対し、行政による正確な情報発信と理解醸成による風評の払拭並びに観光関連業者等との連携強化や地産地消と食育の推進による消費拡大のための対策強化を講じること。

また、本県畜産物の福島ブランドの再構築に向け、食の安全を保証する第三者認証GAPの取得およびHACCP導入に向けたきめ細かな支援を行うこと。

### 6 種雄牛造成、繁殖雌牛整備及び第13回全国和牛能力共進会対策

地域の魅力ある産地形成や生産基盤の維持、拡充を図るため、基礎雌牛整備による高能力雌牛群の造成及び福島県

和牛育種組合の取組強化により福島県由来の種雄牛造成など改良体制の構築を図ること。

また、令和9年度北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会向け、ゲノム解析技術活用により全共出品候補牛及び交配する母牛等の調査（脂肪交雑、MUF Aなど）、全共の肉牛の部の事前対策として、短期間の実践的な肥育試験など行うこと。

### 7 産業動物診療獣医師の確保定着対策

産業動物獣医師は、家畜の疾病治療や各種伝染性疾患の防疫対策にとどまらず、畜産農家の経営安定化のための飼養・衛生管理指導を行うなど畜産業の維持発展に必要不可欠な存在でありながら、獣医学を専攻する学生のうち産業動物の希望者が少なく、本県における産業動物関係の獣医師は慢性的に不足している現状である。獣医師確保が困難な状況が続くと獣医療の提供が困難な地域が生じることが見込まれ、安全で良質な畜産物を提供していくためには、安定的に獣医療を提供する体制の整備が必要である。

これらのことから、将来にわたる獣医師確保に向けて、組織を超えた獣医学学生実習制度の構築及び県と関係団体による合同説明会の実施、また、県職員以外の関係団体の産業動物獣医師採用に対しても奨学金制度助成を設ける等、産業動物獣医師の確保・定着に向けた支援をすること。

## T・ユニオンデーリィ 国内初の母娘 連続でのEX-5E獲得!!

福島県酪農業協同組合

「令和5年度上期 牛群審査」において、T・ユニオンデーリィ所有のT・ユニオン アフター エチユード（娘）が、6才・7才92点、今回は8才で92点となり、母 サクランド サム エルピナ（92点-E5）とともに、全国で初となる母娘での5回連続エクセレントを獲得されました。おめでとうございます。



娘:T・ユニオン アフター エチユード 92点-5E 2015年3月24日生まれ  
母:サクランド サム エルピナ 92点-5E 2010年12月30日生まれ

T・ユニオンデーリィは、東日本大震災において、避難を余儀なくされ、本宮市へ移転し、営農を続けてきました。今年11月には、ふるさとの浪江町に12年ぶりに牛たちとともに戻り、新たな出発を迎える予定です。

牛群審査において、体型得点の最高ランクである「エクセレント」

体型得点で90点以上を獲得した牛へ「エクセレント」との称号が与えられます。しかし、「エクセレント」を獲得するには、体型得点90点以上に加え、牛群検定305日乳量が9,000kg以上、3産以上分娩していることが求められています。年齢とともに体型が崩れやすくなる中で、連続「エクセレント」を獲得することは、とても栄誉のあることです。

※EX-5Eとは、エクセレントに5回評価されたということを示しております

**第34回福島県牛削蹄競技大会及び第33回東北地区牛削蹄競技大会 (福島県) 開催  
～上位6名が全国大会へ～**

福島県装削蹄師会

福島県装削蹄師会（中野目正明会長）主催の「第34回福島県牛削蹄競技大会」が、7月13日に二本松市岳温泉横森の（有）エム牧場岳農場で開催されました。本競技大会は、乳牛及び肉用牛の能力増進に資すると共に認定牛削蹄師の牛削蹄技術の向上と第33回東北地区牛削蹄競技大会（福島県開催）の県予選（代表3名）を兼ねており、県内から11名の選手が出場しました。農林水産大臣賞受賞歴がある福島県装削蹄師会所属、指導級認定牛削蹄師の武藤稔貴氏を審査委員長に迎え、選手たちは牛削蹄判断競技及び牛削蹄競技（単独保定部門）に臨みました。

最優秀賞には安達支部の高野智徳さん、優秀賞は安達支部の武藤智哉さん、優良賞は田村支部の目黒知希さんが受賞し、3名は東北大会への出場権を獲得しました。最優秀賞を受賞した高野智徳さんは4大会連続の受賞となりました。

また、県大会で選出された3名は8月31日（木）に福島県家畜市場（本宮市）で開催された第33回東北地区牛

削蹄競技大会に出場しました。東北大会の福島県開催は9年ぶりであり、審査委員長に日本装削蹄協会の大沼純一氏、審査委員に第52回全国牛削蹄競技大会優勝者であり秋田県装削蹄師会所属の大場惣晃氏並びに福島県装削蹄師会所属の武藤稔貴氏を迎え、東北6県の各県代表17名の選手が腕を競いました。

優勝は矢口学さん（山形県）、準優勝は松田朗海さん（山形県）、優秀賞は武藤智哉さん（福島県）、山内雄大さん（宮城県）、館下貞行さん（岩手県）および渡邊淳さん（宮城県）が受賞されました。福島県代表では安達支部、武藤智哉さんが優秀賞となり、全国大会出場への切符を手に入れました。団体優勝については5大会連続で山形県が受賞しました。

なお、入賞した上位6名は11月15日（水）に茨城県水戸市「笠間瑞穂株式会社瑞穂農場 鯉淵分場」にて開催される第64回全国牛削蹄競技大会に出場することになり、健闘が期待されます。



第34回福島県牛削蹄競技大会受賞者と中野目会長  
写真は左から選手の武藤さん、高野さん、目黒さん、  
会長の中野目さん



第33回東北地区牛削蹄競技大会受賞者  
写真は左から選手の矢口さん、松田さん、武藤さん、  
山内さん、館下さん、渡邊さん

**御用命は**

- ◎牛用・豚用・鶏用  
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会  
事務局 株式会社アスコ内  
☎(0243)631-488

小田島商事株式会社  
福島市鎌田字卸町十一の四  
☎(024)553-6678

日本全薬工業株式会社  
福島営業所  
郡山市安積町笹川字の上一  
☎(024)945-12306

株式会社アグロジャパン  
南東北営業部(福島)  
郡山市開成六丁目六七七一  
☎(024)954-4171

日新殖産株式会社  
伊達市梁川町字東塩野川一五  
☎(024)577-3111

株式会社アスコ  
本宮市本宮字下台18-12  
☎(0243)631-2488

「動物用医薬品は、  
正しく使用し、  
休薬期間を  
厳守しましょう」

●品質と信頼の●

**くみあい配合飼料**



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本 社  
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イースビル  
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所  
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F  
TEL (024) 941-0825  
FAX (024) 941-0827

## 第36回みつばち慰霊祭開催

福島県養蜂協会

福島県養蜂協会のみつばち慰霊祭は、はちみつの日の8月3日に、会津若松市鶴ヶ城公園内みつばちの杜で開催されました。

昭和63年、全国に先駆けたこの慰霊祭も早35年の時を重ね、慰霊碑建設のため整備された900平方メートルの杜には、栃・アカシアなど約20種類の蜜源樹植物が大きく育ち夏の日差しをやさしくつつんでくれるようになりました。

人間が蜜蜂からいただいているのは、はちみつばかりではありません。ローヤルゼリー、プロポリス、蜜蝋、花粉粒もそうです。さらに、蜜蜂は花粉を運ぶ送粉者(ポリネーター)の一つとして植物の受粉を助け、受粉を必要とする農作物の農産物生産に大きな役割を果たしています。

慰霊祭では、この無数の小さな蜜蜂の御霊に心からの感

謝をこめて哀悼の意をささげました。



近藤会長あいさつ

## 第36回福島県はちみつ品評会開催

福島県養蜂協会

第36回福島県はちみつ品評会が8月22日に福島市の福島県土地改良会館で開催され、最高賞である農林水産大臣賞に池澤洋一氏のアカシア蜜が選ばれました。

はちみつ品評会は養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的に毎年開催され、今年も35会員から103本のはちみつが出品されました。

事前に糖度を測定した出品蜜を、福島県畜産課本多巖課長を審査長とする審査員7名が風味と色沢の審査を行い、トチ蜜、アカシア蜜、その他蜜の3区分から13賞が選ばれました。(別表のとおり)

農林水産大臣賞をはじめ上位入賞したはちみつは色沢・風味に優れており、惜しくも入賞を逃したはちみつも天候

の影響を受けたものの、例年と変わらず高い品質を保っていました。

出品されたはちみつは9月1日、2日の農業総合センターまつりで一部販売され、主に会津地方で採取されるトチ蜜や人気のアカシア蜜、風味豊かな山桜蜜などが好評を得ていました。

今後は東京の日本橋ふくしま館MIDETTE(ミデッテ)で販売を予定しており「養蜂県ふくしま」を象徴する県産はちみつの魅力を発信していきます。

(敬称略)

賞区分	花名	氏名	市町村
農林水産大臣賞	アカシア	池澤 洋一	白河市
福島県知事賞	トチ	伊藤 身輔	会津若松市
福島県議会議長賞	アカシア	鈴木 賢昭	磐梯町
福島県議会議長賞	キハダ	時任 真由美	三島町
日本養蜂協会会長賞	トチ	山田 雄一	下郷町
日本養蜂協会会長賞	桜	長沼 久雄	会津若松市
日本養蜂協会会長賞	アカシア	鈴木 友康	磐梯町
福島テレビ社長賞	アカシア	今泉 清	郡山市
福島県畜産振興協会会長賞	トチ	平野 公樹	檜枝岐村
福島県畜産振興協会会長賞	トチ	三浦 豊一	喜多方市
福島県養蜂協会会長賞	アカシア	後藤 佑亮	郡山市
福島県養蜂協会会長賞	百花	松本 吉弘	猪苗代町
福島県養蜂協会会長賞	アカシア	長嶺 清志	会津若松市



審査の様子

マザーズ イーエン  
 ＊うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-EN 令和5年度総会＊

公益社団法人福島県畜産振興協会

県内の畜産に携わる女性を対象に、技術の向上、担い手としての意識の高揚、積極的な経営参画並びに情報交換による生産者同士の交流を目的として平成20年7月11日に発足したうつくしま福島畜産mother'sクラブ e-ENが、この度設立15周年にあたる、令和5年度総会が8月21日磐梯熱海温泉「楽山」にて開催されました。

県畜産振興協会伊藤専務より今後も会の活躍を期待するとの励ましの祝辞を頂き、提出議案の令和4年度活動報告及び収支決算、令和5年度活動計画及び収支予算についても原案通り承認されました。

年明け初セリの牛鍋も再開する予定ですので、皆様のご協力や応援をよろしくお願いいたします。

マザーズクラブは、長年、役員の方を中心に大切に育てていただき、畜種を超え、皆が意見を出し合い、協力し合える素敵な会となりました。

今後も仲間と協力し、マザーズクラブの活動を次の世代にも引き継いでいきたいと、各役員より挨拶がありました。

また、研修生受け入れについての事例発表会として会津美里町で酪農経営をされている福田祐子さんに経営概要など紹介していただきました。

福田牧場での研修生受け入れは、単に家畜とのふれあいや作業労力としてではなく、酪農の生業を体験してもらう

ことをスタンスに取り組まれている事など、思いの詰まった発表を聞くことができました。

役 員

役職	令和5年度～令和6年度	
期間		
会 長	木目澤 久實子	酪 農
副会長	先崎 幸江	肉用牛肥育
副会長	阿部 フミ子	酪 農
副会長(新任)	長谷川 和子	肉用牛肥育
役 員	青柳 チイ子	和牛繁殖
役 員	深澤 ナツ	肉用牛肥育
役 員	吉田 三枝子	和牛繁殖
役 員	福田 祐子	酪 農
役 員	松本 栄子	和牛繁殖
役 員	富樫 恵久子	和牛繁殖
役 員	小沢 めぐみ	酪 農
役 員	松本 文子	和牛繁殖
役 員	金子 政委	酪 農

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

＊うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-ENからのおしらせ＊

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-ENでは会員を募集しています。

マザーズクラブは、福島県内の畜産に携わる女性が飼養畜種を越えて、日頃の思いを発信する場、お互いの情報交流・研鑽の場、消費者との交流や子供たちへの生命教育等の活動をする場として集い、技術向上、担い手としての意識の高揚等、積極的な経営参画並びに将来の経営に夢や希望意欲を持って専念できるよう、生産者相互の交流に資す

るため活動をしています。

気軽に楽しい集まりですので畜産の仲間が集まり、一緒に楽しい時間を過ごしませんか！

入会金・年会費は無料ですので、入会ご希望の方は公益社団法人福島県畜産振興協会（担当：野田 TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565）までご連絡ください。

※協会HPに入会申込書がありますので、必要事項をご記入の上、メール・FAXしていただいてもOKです。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502  
 福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）  
 TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に  
 おいしい  
 はちみつは  
 いかがが！

## 酒粕ペレットを給与した豚の食味特性に関する研究

福島県農業総合センター畜産研究所

畜産研究所では、現在産業廃棄物となっている酒粕を有効利用し、豚肉の高付加価値化に向けた研究を進めています。本研究では、肥育豚に対し、自作した酒粕ペレット（酒粕、白酒ぬか及び醤油粕を混合しペレット化したもの）を出荷前1ヵ月間給与し、発育や産肉性などへの影響について把握するとともに、豚肉の味や食感等の食味特性についても調査しています。

肉の食味特性を調査する際には、試験会場において、サンプルを焼き肉やしゃぶしゃぶといった豚肉本来の特徴を調査できる調理方法で、パネル（評価する人）の好みについて調査する嗜好型官能評価という方法（写真1）が一般的です。今回の試験では、従来の嗜好型官能評価に加え、市場調査として福島市役所内の食堂で「とんかつ定食」を提供して調査票へ回答する方法（写真2）や、評価者が自宅において、あらかじめ指定された共通の調理方法でサンプルを調理し、試食した上で、調査票に回答する「ホーム

ユーステスト」という方法で調査を行いました。

食堂での調査では、脂の味が「あっさりしている」という特徴があり、ホームユーステストでは、「やわらかさ」に特徴が見られました（図1）。これらの調査結果から、酒粕ペレットを1ヵ月間給与した豚肉は、調理方法によっても異なる特徴が見られることがわかり、他の豚肉との差別化を図ることができると考えられました。



写真2 市場調査で提供したとんかつ定食



写真1 嗜好型官能評価の様子

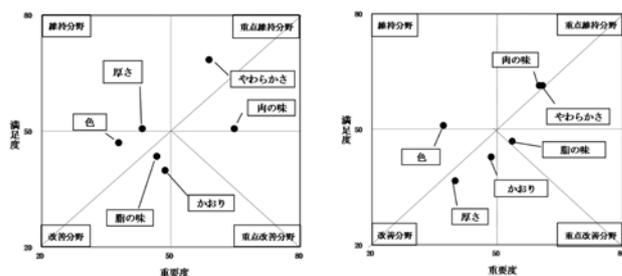


図1 ホームユーステストによる顧客満足度分析(左:去勢,右:雌)  
※各図とも、総合満足度と相関がある項目は右側、相関がない項目は左側にプロットされる。

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全薬工業株式会社  
福島県砂山町安積町菅川字平ノ上1-1  
ZENOAQ www.zenoaq.com



## 畜 産 福 島

### 肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和5年度第1四半期（令和5年4月～6月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交 雑 種
保証基準価格	556,000	507,000	325,000	164,000	274,000
合理化目標価格	439,000	400,000	256,000	110,000	216,000
平均売買価格	586,800	534,000	—	170,200	304,200
補給金単価	—	—	—	—	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。

令和5年度第1四半期においては、全ての品種について、平均売買価格が保証基準価格を下回らなかったことから、生産者補給金は交付されませんでした。

### 和子牛生産者臨時経営支援事業発動状況

令和5年7月14日付け機構より公表された平均価格は以下のとおりです。

黒毛和種について、東北ブロック及び九州・沖縄ブロックの平均価格が発動基準価格を下回ったため、東北ブロックで26,000円／頭、九州・沖縄ブロックで15,000円／頭の支援交付金が発動します。

また、褐毛和種について、全国平均価格が発動基準価格を下回ったため、11,200円／頭の支援交付金が発動します。

令和5年4月～6月分

（単位：円／頭）

品種・ブロック名		平均価格	支援交付金の額	発動基準価格
黒毛和種	北海道	672,393	—	600,000
	東北	565,303	26,000	
	本州関東以西・四国	622,067	—	
	九州・沖縄	579,942	15,000	
褐毛和種		534,966	11,200	550,000
その他の肉専用種		—	—	350,000

注1：肉用子牛生産者補給金制度の対象となる6ヶ月齢～12ヶ月齢の肉用子牛の取引価格を用いて、黒毛和種についてはブロック別の平均価格、その他の品種については全国の平均価格を算出しています。

注2：支援交付金の額は、発動基準と平均価格の差の4分の3を乗じて得た額（百円未満切捨て）です。

注3：その他の肉専用種については、令和5年1月～12月分までの販売データを用いて全国平均価格を算出します。

注4：価格は消費税込み

### 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

（単位：円／頭）

販売月		肉専用種 （東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和5年4月	確定単価	11,676.6	0.0	45,047.7
	概算払い単価	5,961.8	0.0	39,469.7
	精算払い単価	5,714.8	0.0	5,578.0
令和5年5月	確定単価	74,406.6	13,933.8	45,099.0
	概算払い単価	69,976.1	9,733.7	40,943.0
	精算払い単価	4,430.5	4,200.1	4,156.0
令和5年6月	確定単価	81,439.2	45,225.0	32,263.2
令和5年7月	暫定単価	97,086.6	46,701.0	38,408.4
	概算払い単価	90,086.6	39,701.0	31,408.4
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	7,000.0

※令和4年7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

家畜取引状況報告

令和5年7～8月 和牛子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
7	雌	341	957,000	77,000	493,039	295	1,673	289	171	170
	雄	1	270,600	270,600	270,600	342	791	310		1
	去勢	420	1,041,700	198,000	636,148	326	1,954	283	200	220
	計	762	1,041,700	77,000	571,626	312	1,833	285	371	391
8	雌	280	899,800	18,700	482,696	299	1,617	291	147	133
	雄									
	去勢	383	998,800	70,400	644,169	324	1,991	285	202	181
	計	663	998,800	18,700	575,975	313	1,840	288	349	314

令和5年7～8月 乳子牛市場成績 (県家畜市場)

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
7月 第333回	ホル雄	35	161,700	27,500	113,111
	ホル去勢	1	20,900	20,900	20,900
	ホルフリー	6	33,000	6,600	20,350
	F <sub>1</sub> 雌	58	251,900	33,000	168,395
	F <sub>1</sub> 雄	69	283,800	113,300	175,777
	和牛雌	6	418,000	185,900	357,133
	和牛雄	23	539,000	335,500	430,291
	和牛去勢				
計・平均	198	539,000	6,600	192,106	
8月 第334回	ホル雄	37	137,500	1,100	63,176
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F <sub>1</sub> 雌	49	152,900	1,100	76,596
	F <sub>1</sub> 雄	69	261,800	1,100	101,646
	和牛雌	14	321,200	198,000	258,029
	和牛雄	29	479,600	176,000	309,214
	和牛去勢				
	計・平均	199	479,600	1,100	129,070

令和5年7～8月 乳子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
7	乳登						
	妊娠牛	3	550,000	264,000	359,334		
	E T 和雌	1	335,500	335,500	335,500	3,257	103
	E T 和雄	3	399,300	335,500	377,300	3,560	106
	乳雌牛	1	1,100	1,100	1,100	21	54
	乳雄牛	19	177,100	1,100	85,974	1,155	74
	乳去勢子						
	F <sub>1</sub> 雌(育成)						
	F <sub>1</sub> 去(育成)						
	F <sub>1</sub> 雌(スモール)	40	234,300	44,000	166,925	2,160	77
	F <sub>1</sub> 雄(スモール)	43	277,200	112,200	187,435	2,328	81
	計・平均	110	550,000	1,100	171,970	2,241	77
8	乳登						
	妊娠牛	1	330,000	330,000	330,000		
	E T 和雌						
	E T 和雄	4	341,000	330,000	336,600	3,427	98
	乳雌牛	2	5,500	1,100	3,300	47	70
	乳雄牛	11	48,400	1,100	25,700	340	76
	乳去勢子						
	F <sub>1</sub> 雌(育成)						
	F <sub>1</sub> 去(育成)						
	F <sub>1</sub> 雌(スモール)	41	166,100	17,600	89,637	1,170	77
	F <sub>1</sub> 雄(スモール)	35	196,900	20,900	97,020	1,287	75
	計・平均	94	341,000	1,100	96,133	1,265	76

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子  
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地  
Tel 024-573-0515  
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040  
下段「オープス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(10月)

日曜	①月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8①	9②	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16①	17②	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24①	25②	26火	27水	28木	29金	30土	31日
ニュートラック福島		盛岡	名古屋					盛岡	笠松							盛岡						盛岡	笠松							盛岡	
オープス磐梯		大井						川崎								浦和						船橋								大井	

(11月)

日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	
ニュートラック福島		園田				盛岡	園田						盛岡	園田	結城						盛岡	笠松							水沢	園田	
オープス磐梯		大井				川崎							大井								浦和								船橋		

※発売日程は、変更になることがあります。  
地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会